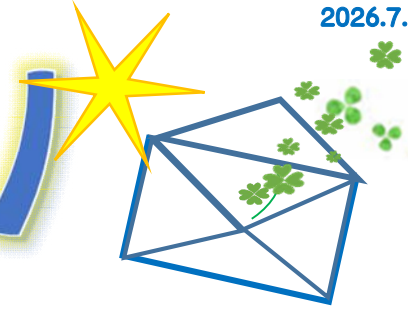


だれもがキラリ



「幸せの形は、時代とともに変わる」

そんな言葉を、どこかで耳にしたことはありませんか？あなたにとっての「幸せ」とは何でしょう。

高い収入を得ること？美味しいものを食べること？あるいは健やかに過ごすこと？

一時に比べて人口が減ったとはいえ、この国では今も一億人以上の人が、自分なりの幸せを探して生きています。世代や性別が違えば、求める形も千差万別。

では、私たちが大切にしているその「幸せの基準」は、一体どこにあるのでしょうか。

しあわせのタイムトラベル ～今を生きる私たちのしあわせの形～

ほーっほっほーっほー 私の名前はほー先生！これから皆と一緒にタイムトラベルするぞい！
下の表を見してくれるかの？世代1～5とはいつ頃の世代のことかわかるかの？そして自分がどの世代に属しとるかの？ヒントは電話のイラストじゃぞい！



ほー先生 ？歳

	時代の空気感	しあわせのあり方	努力の矛先
世代1 	・一億総中流 ・上昇気流	家族みんなが健康で大きな家に住むこと。	立派さ 格好、体裁を整え、人生のレールに乗り遅れず、がむしやりに働く。
世代2 	・もっと華やかに ・選ばれし自分	華やかな流行にのり、素敵な相手と豪華な場所に行くこと。	輝き ブランド品、オープンカー、海外旅行。人より輝くこと。消費主義。
世代3 	・自己責任 ・殺伐 ・自分で自分を守る	不安な世の中で、自分の居場所を見つけ生き抜く。	強気 自由といきり、生身の自分、資格を取る、勝ち組。誰の力も借りない。
世代4 	・さめた目線 ・諦めモード ・スローライフ	競わず自分らしく穏やかに。ワークライフバランス。	心地よさ 無駄な衝突を避け、高望みをせず、賢く心地よく生き抜く。
世代5 	・好きを貫き自分を律する ・加工	枠にとらわれず「推し活」や承認を集めることで満たされる。	セルフブランディング 自分の価値観を磨き、SNSで世に発信するが、炎上やネットリテラシーに細心の注意を払う。



ほーっほっほーっほー
簡単すぎたかのう！ それでは正解をみていくぞい！

世代1 団塊の世代 70代～



あの頃は努力すればするほど豊かになれるとみんな信じてったんじや。今考えると一番ええ時代じやったなあ。

確かに銀行に預けた金が確実に増えとったな・・・でも働き詰めで、一度レールから外れると修正がきかなかった。今の若いひとはもっと自由じゃわ。



世代2 バブルの世代 50代60代

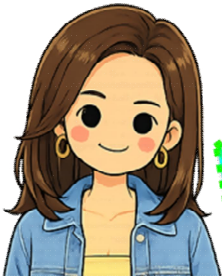


就職は引く手あまたで花のOL時代はブランドもののスーツ。上司や先輩に美味しいお店に連れて行ってもらい寝る間も惜しんで遊んだわあ。

時代について行けれん時は侘びしいこともあったぞ。男女雇用機会均等法も名ばかり、女は一才でも若い方が良くて男は24時間働けますか？なんて本気で言よーたで。

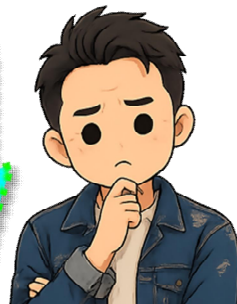


世代3 氷河期の世代 30代後半～40代



うちは成熟した社会で生まれ育った世代。それに自由な気風が今よりあったんよ！上のルール主義、下の空気読み、どちらも窮屈そう。

就職活動の時苦労したが！理不尽ばかりで自分の身は自分で守るしかなかった。中年の引きこもり問題だってまだ何も解決しとらんし。

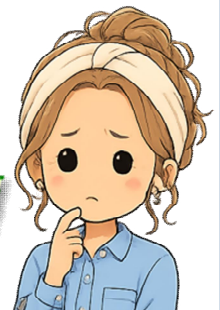


世代4 ゆとり・さとの世代 30代前後



自分は上の世代見て落差味わうのも苦労するのも嫌じゃなーと思ったんよ。最初から自分なりの幸せで十分なんよな。

ふたことめには「空気読み」、ネット掲示板いじめも流行ったし息苦しかった。先の見えない不景気もそれが当たり前になって「期待しても無駄」感。



世代5 Z世代 2000年以降生まれ



性別も生き方も「人それぞれでいい」と思う！SNSで稼ぐ手もあるし「推し」のためならどこまでも頑張れる。自分で自分をデザインできる時代！

常に「正解のキラキラ」をSNSで演じるのしんどいけど無いと孤独。やらかせば炎上してたたかれる。自由そうに見えて透明な檻の中のような感覚。



ほーっほっほっほー

こりゃ収集がつかんぞい！

同世代と言っても、それぞれ違う風に吹かれて生きておる。よしよし、次のページからちよつと各時代をまとめてみるぞい！ただ、正確に言えば時代の分かれ目に生まれた者もたくさんおるんじや。彼らが実は世代間の通訳になってくれとるのかもしれないぞい！



- 大正の世代（大正生まれ、御年100歳以上）
- 戦中戦後の世代（昭和2年～21年頃生まれ）



激動の時代を越え、豊かな世の
礎を築いてくれた先人の生きる
力は宝物じゃぞい！

- 団塊の世代（昭和20年代後半生まれ～）

社会：高度成長期、新幹線開通、大阪万博、東京五輪
世相：ビートルズ来日、三億円事件、学生運動、あさま山荘事件
生活：三種の神器（テレビ・洗濯機・冷蔵庫）、即席ラーメン



時代の葛藤

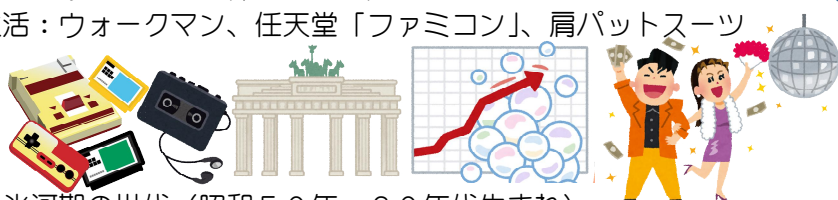
男性：人生のすべてが「仕事・肩書き」

女性：家事も育児も介護も「嫁」1人が背負う

✓ルールを外れられない重圧

- バブルの世代（昭和30年代後半～40年代生まれ）

社会：男女雇用機会均等法、ベルリンの壁崩壊、バブル経済
世相：ホテルのディナーショー、ディスコ「ジュリアナ東京」、リクルート事件、地上げ屋
生活：ウォークマン、任天堂「ファミコン」、肩パットスーツ



時代の葛藤

男性：仕事も遊びも見栄を張る、タフネスの強要

女性：キャリア or 結婚の第1世代、道なき道

✓浮世の最中「自分らしさ」の消失

- 氷河期の世代（昭和50年～60年代生まれ）

社会：バブル崩壊、阪神淡路大震災、Windows95発売、9.11テロ
世相：就職難、地下鉄サリン事件、ノストラダムスの大予言
生活：ストリートカルチャーの全盛（腰パン、アムラー、ルーズソックス）、たまごっち、SONY「PlayStation」



時代の葛藤

男性：圧倒的「買い手市場」での搾取

女性：依存も自立もできぬ、都合の良い「労働力」

✓社会に拒絶された「退廃」

- ゆとり・さとの世代（平成ひと桁生まれ～）

社会：郵政民営化、米国オバマ政権、東日本大震災、スカイツリー
世相：「ゆとり」教育、空気読みと絆、なでしこジャパン優勝
生活：YouTube、初期Twitter、mixi、Nintendo「DS」サブカルチャーの確立、ガラケーからスマホへ



時代の葛藤

男性：野心の剥奪と平静の強要

女性：目立たず、嫌われず、無難への模索と閉塞

✓同調圧力に「本心」を失う

- Z世代（平成後半生まれ～）

社会：平成天皇退位、新型コロナウイルス、ロシアウクライナ侵攻
世相：SDGs、多様性、リモートワーク、安倍元首相銃撃事件
生活：推し活、タイパ、TikTok、Netflix



時代の葛藤

男性/女性：個性の強要とタイパ主義と終わりなき承認欲求、最短ルート（正解）を求め臆病に

✓比較と合理化の先に「休息」を失う

- α世代（2010年代以降生まれ）

ほーっほっほー 何かという時代じゃろう。戦前生まれの100歳近い方から、生まれた時からスマホを操る10代まで、これほどまでに違う価値観を抱えた人々が、同じ空の下で肩を並べて生きておるんじゃ。こんな時代、かつて人類が経験したことがあったかのう？



世代間の対立と実は似たもの同士？な共鳴ポイント



バブルの物質主義	VS	Zのデジタル主義	人より目立ちたいという欲求が似てる
コツコツ積み上げ団塊	VS	ばーっと消費バブル	どちらも上昇思考でエネルギー最強
氷河期のむき出し	VS	ゆとりざとりの無難	国や会社は助けてくれないリアルイズム
会社を信じた団塊	VS	会社に裏切られた氷河期	自分の居場所を守ろうと必死だった
察してほしいゆとりざとり	VS		否定されたくない自己防衛本能が高い

タイパ重視で簡潔に伝えてほしいZ

実は1000年前の「枕草子」にも、最近の若者は言葉が乱れて嘆かわしい、との記述がある。驚くじやろう？

電気もない時代から人は同じようなことを言ってきたんじや。まるで伝統行事じやの。自分とは違うと突き放すのは簡単じやが、なぜそう考えるのかと一步踏み込めば、案外隣のあやつともわかり合えるかもしれんぞい。ふおつふおつ。

- ・焼け野原と瓦礫の中、生きるために再び立ち上がった世代
- ・明日をより豊かにと、ひたすらに働いた世代
- ・豊かさを享受しながら、一方で孤独を感じた世代
- ・信じていたものが音を立てて壊れていった世代
- ・天災に翻弄されながら、支え合うぬくもりを頼りにした世代
- ・氾濫する情報の中で、自分として立つ世代



ほーっほーっほー 上の図形を見てくれるかの。たくさんの形があるじやろう？

しあわせの形は、誰一人として同じではないんじや。世代ごとに似た服を着ておっても、ひとりひとり違う。

だから、世間が決めた正解の形に、無理に自分を合わせる必要はない。

足りないところを嘆いたり、無理やり左右対称に整えようとしなくても大丈夫。

……といっても、探している最中は、なかなかそれに気づけないもんじや。

まあ、ワシなんか何百年生きてても、まだ自分の形を模索中なんじやがな。ふおつふおつ。

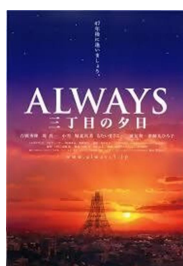


書籍・映像のご紹介



読み物：「幸せ」の戦後史/菊池文彦

戦後の復興から震災を経た日本人の「本当の豊かさ」とは何か。理屈抜きで歌やアニメなどの身近な話題から時代の移り変わりを楽しく学べるガイドブック。



映画：『ALWAYS 三丁目の夕日』シリーズ/山崎貴監督

戦後の「何もないけれど希望があった時代」から高度経済成長期を描いた名作。



エッセイ：幸福論/アラン（神谷幹夫訳）

人生について、仕事について、人間関係について、今だから読みたい「生き方論」の古典的名著。